

のうがくにゅうもんこうざ むずかしい能楽入門講座

ゆうげん
幽玄ってなんだろう？

のうがく せかい みと すば げいじゅつ
能楽は、世界が認める素晴らしい芸術！

いま わだい せかいいさん せかいいさんじょうやく とうろく せかい
今、話題の「世界遺産」は、ユネスコ世界遺産条約にもとづいて登録された、世界のすべて
ひとびと きょうゆう みらい せだい ひ つ ぶんかざい しぜんかんきょう
の人々が共有し、未来の世代に引き継いでいくべき文化財や自然環境のことです。

つづ みんぞくおんがく まつ とだ かたち のこ ぶんかいさん ほご
これに続き、民俗音楽やお祭りなど、いちど途絶えてしまうと形の残らない文化遺産を保護す
るために、ユネスコは「無形文化遺産保護条約」を採択しました(2003年)。この条約の発効
に先立ち(*注) わが国の能楽は、「人類の口承及び無形遺産の傑作」として宣言されました(2
001年)。この傑作宣言によって、能楽は条約発効後、「世界無形遺産」として登録されます。

じんるい けっさく せかい みと のうがく わたし し
人類の傑作として世界が認める「能楽」を、私たちももっと知っておきたいものです。

*注：この条約は、締約国が30カ国に達した3ヶ月後に有効となり、現在日本を含む19カ国が批准しています。

のうがく き そ ち し き 能楽基礎知識

のうがく のう にほん だいひょう げいのう ねんまえ う
能楽(能ともいう)は、日本を代表する芸能で、およそ600年前に生まれました。

むろまちじだい しょうぐんあしかがよしみつ せいぎ お かんあみ ぜあみ やくしゃ
室町時代の将軍足利義満のとき(14世紀の終わりごろ)観阿弥・世阿弥というすぐれた役者

たちが、それまできよくげい もの えん さるがく げいじゅつせい たか かぶげき はってん
曲芸や物まねを演じてみせていた猿楽を、より芸術性の高い歌舞劇へと発展さ

せ、「猿楽の能」と呼ばれました。江戸時代には、幕府や大名が、重要な儀式や祝宴をすると

きに催す式楽とされました。「能楽」と呼ばれるようになったのは、明治以降のことです。

のうがく き そ ち し き 能楽基礎知識

のう げき だいほん ようきょく うたいほん せんよう ぶたい のうぶたい ふんそうよう かめん のうめん ぶたいいしやう
能には、劇の台本となる謡曲（謡本）、専用の舞台（能舞台）、扮装用の仮面（能面）や舞台衣装

（能装束）があり、その道の修練を積んだ能役者（主役をシテ方、脇役をワキ方という）や演奏者

（囃子方）によって上演されます。

げんざい かんぜ ほうしやう こんばる こんごう き た かた りゅう かた りゅう しもがかりほうしやう たがやす
現在、観世・宝生・金春・金剛・喜多のシテ方5流のほか、ワキ方3流（下懸宝生・高安・

福王）、狂言方2流（大蔵・和泉）、囃子方14流（笛方3流、小鼓方4流、大鼓方5流、

太鼓方2流）があります。

やつしろ のうめん のうしやうぞく なぜ、八代に能面や能装束があるのでしょうか？

げんざい はくぶつかん てんじ のうめん のうしやうぞく え どじだい ひごはん かるう まついか ほ
現在、博物館で展示している能面や能装束は、江戸時代、肥後藩の家老をつとめた松井家が保

存してきたものです（現在は財団法人松井文庫所蔵）。松井家は、肥後藩主細川家にあつく信頼さ

れ、およそ225年間にわたって八代城に在城しました。

とうじ ぶけ しょうがつ じんせい ふしめ いわ たいせつ きやくさま むか
当時の武家では、お正月や人生の節目となるお祝いのとき、また、大切なお客様を迎えたと

きなどに、能を上演して楽しみました。そのため、能に用いる道具を揃えたり、自らが能を習っ

たりして、上手になる人がたくさんいました。

やつしろ やつしろじやうほんまるない のうぶたい のう じやうえん まついぶんこ のうめん
八代でも、八代城本丸内に能舞台があり、たびたび能が上演されました。松井文庫の能面や

能装束は、質の高いものが多く揃っていることで全国的に有名です。

やつしろ のうぶたい 八代にも、能舞台があった！

めいじ 明治になると、やつしろじょうない のうぶたい 八代城内の能舞台はなくなってしまったようです。

しかし、のう あい 能を愛する伝統は大切に守られ、とくにまついながゆき し まついながゆきし (1923～82)は、じゅうようむけい 重要無形

ぶんかざい 文化財「能楽」保持者の指定を受けるほどのじつりよくしゃ 実力者で、のう けいしゅう 能の継承と発展に努力されました。

まついけ のうぶたい 松井家の能舞台は、げんざい し はくぶつかん 現在の市博物館（ここ）

しきちない 敷地内（ちゅうりんじょう あた 駐輪場の辺り）にありました。

しょうわ 昭和61年（1986）ねん 熊本・すいぜんじこうえんない 水前寺公園内

にあるいずみじんじゃ 出水神社に移築され、いちく げんざい さか のう 現在も盛んに能が

じょうえん 上演されています。



熊本・水前寺公園内にある出水神社の能舞台

ゆうげん い み 幽玄ってどんな意味？

のう ひょうげん 能を表現するとき、「ゆうげん 幽玄」という言葉がよく使われます。このゆうげん 幽玄とは、いったいどんない み 意味

なのでしょう。だいひょうてき 代表的な辞書には次のように書かれています。（『大辞泉』より）

一、ものごと おもむき おくぶか 物事の 趣 が奥深く、はかりしれないこと。また、そのさま。

二、ちゅうせい 中世のぶんがく 文学・げいのう 芸能におけるびてきりねん いち 美的理念の一。（ア）かるん 歌論などで、ゆうえん きちよう 優艶を基調としておくぶか 奥深い、

せいじゃく よじょう 静寂な余情、しょうちやうてき 象徴的な情調のあること。（イ）のうがくるん 能楽論で、ゆうが にゅうわ うつく 優雅で柔和な美しさ。びじょ 美女・

びしょうねん 美少年などのゆうび 優美さや、またさ ゆうび 寂びた優美さをいう。

ほんてんじ 本展示を通じて、わが国をく に だいひょう 代表するびてきりねん ゆうげん 美的理念「幽玄」をあじ 味わっていただければさいわい 幸いです。

やつしろのうがくしりゃくねんぴょう

八代能楽史略年表

年 号	西 暦	八代の出来事（太字は中央での出来事）
元弘 3年	1 3 3 3	鎌倉幕府が滅びる。観阿弥生まれる。
建武 元年	1 3 3 4	後醍醐天皇の臣名和長年の長男義高が八代荘の地頭になり、一族の内河義真が代官として下向し、古麓城を築く。
貞治 2年	1 3 6 3	この頃、世阿弥生まれる。
永和 元年	1 3 7 5	將軍足利義満が観阿弥・世阿弥父子の能を見物する
応永 7年	1 4 0 0	世阿弥の最初の芸論『風姿花伝』第三まで成る。
永正 元年	1 5 0 4	相良氏が名和氏を攻め、古麓城に入る。
天文 5年	1 5 3 6	相良氏お抱えの能役者宗像右衛門太夫が陣内（古麓城下）で能を演じる。熊本県で能が行われた最初の記録。以後、城下や正法寺、荘厳寺などで能を上演したことが『八代日記』に記されている。
天正 9年	1 5 8 1	島津氏が相良氏を降伏させ、八代を支配する。
天正 11年	1 5 8 3	この頃から慶長初年まで、細川幽斎・忠興父子、丹後で盛んに演能。
天正 14年	1 5 8 6	島津義久、八代正法寺にて能興行（翁付七番）。京都の能役者渋谷与吉郎、対馬丞父子が演じる。
天正 15年	1 5 8 7	豊臣秀吉が九州を平定し、佐々成政が肥後領主となる。
天正 16年	1 5 8 8	佐々成政が切腹。小西行長が肥後南部の領主となり、麦島城を築く。加藤清正、秀吉の小姓で金春安照（金春流の役者）の弟子中村政長を召抱える。
慶長 5年	1 6 0 0	関ヶ原の戦により小西氏滅亡。加藤清正が肥後領主となる。
元和 5年	1 6 1 9	地震で麦島城崩壊。加藤家の家老加藤正方が松江城（現在の八代城）を築く。元和8年完成。
寛永 9年	1 6 3 2	加藤氏が改易され、細川氏が肥後に入る。八代城には藩主忠利の父三斎（忠興）が入る。
寛永 10年	1 6 3 3	三斎、本丸にあった能舞台を建て直す。
正保 3年	1 6 4 6	三斎没後、細川家の筆頭家老長岡（松井）興長が八代城に入る。
寛文 7年	1 6 6 7	藩主細川綱利が八代城に光駕。能七番が興行される。
慶応 4年	1 8 6 8	八代の町方衆、春日神社で狂言を上演する。
明治 3年	1 8 7 0	八代城廃城。
昭和 9年	1 9 3 4	弓削家の能舞台（現本町緑地公園にあった）を、松井家に寄贈。
昭和 44年	1 9 6 9	金春松融会発足（松融会、熊本金春会と合併）
昭和 50年	1 9 7 5	松井祥之氏（重要無形文化財保持者認定）
昭和 61年	1 9 8 6	松井家の能舞台（現博物館駐輪場辺りにあった）出水神社に移築。

ユネスコ憲章を知っていますか。

「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心のなかに平和の砦を築かなければならない。」

——これは、1945年、第2次世界大戦後に発足した「ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）憲章」の前文です。自国の文化を知り大切にすることは、他国の文化も知り、また尊重することにつながります。